

# リースティア = スフィアー

製作・K' (カズ・ダッシュ)

## リースティア = スフィアー(データ)

リースティア = スフィアー(竜族(半竜)・女性)  
所属.....ジャイロ民主主義人民共和国  
年齢 ~ 32歳(肉体年齢は16歳)  
一人称 ~ 私  
二人称 ~ あなた、~さん、~様、アメリカには隊長  
身長 ~ 161cm、体重 ~ 55kg  
スリーサイズ ~ 86・54・82  
使用武器 ~ 雷鳴の剣『デュカリオン』  
性格 ~ 冷静で慈悲深い

ジャイロ民主主義人民共和国の下級幹部の一人で、国防隊副隊長。  
雷竜(サンダードラゴン)族の血を引いている為、年齢の割に肉体年齢は非常に若い。  
元はクレメア地方に住んでいたが、両親が病気に倒れ天涯孤独となった後にジャイロに流れ着いた。

ジャイロ幹部としては珍しい穏健派で、大人しく慈悲深い。  
また、軍師としても非常に有能で、戦略・戦術に関してはジャイロでもトップクラスの知識を持つ。  
剣士としての実力・技量・才能ともにトップクラスで、明らかに隊長の器を持っているものの、

その性格の問題から上層部と折り合いが悪く、副隊長の地位に留まっている。  
なお、民衆には非常に人気が高く、『ジャイロ国防隊・最後の良心』とも言われている。  
冷酷な性格であるアメリカとは特に仲が悪い.....というより、アメリカから一方的に嫌われている。  
(彼女自身は仲良くしたい、と思っているのだが.....)

武器は雷を帯びた魔剣『デュカリオン』。  
電撃の術を得意としており、「雷鳴の姫君」の異名を持つ。  
追い詰められると竜族の力を解放し、口から雷鳴のプレスを吐き敵を撃破する事も可能。  
だが、かなりの苦痛が発生するため、余程追い詰められた状況でない限り使用しない。  
勿論山の如く例外もあり、特に怒らせると龍に変身するのではないかと、とも言われる。  
(実際に、一度だけ国境の砦をプレスで消滅させた余罪もあるが)

現在、自分はこれで良いのか、と迷いが出始めているようだが.....?  
(ちなみに、現状では裏切るという行動を取る気は全くない、彼女も国を愛する一人なのです)

雷鳴の剣『デュカリオン』  
リースティアの両親が残した唯一の遺産で、雷光石と呼ばれる石を鍛えて作られた魔剣。  
柄の部分には、オメガの時代の技術で作られた鞘が移植されている。  
常に微弱な電流を放ち続けており、斬られた者は凄まじい雷撃に焼き尽くされる。  
ただ、雷を呼び寄せてしまう性質がある。その為、雷竜や雷の精霊族など、雷撃に強力な耐性のある人物以外が使用すると、  
抜いて戦っている最中に雷を呼び寄せてしまい、自爆する危険性がある。  
(味方の雷撃魔法も引き寄せてしまう可能性もある)

・シナリオでの運用法指針  
アメリカと対になるキャラクターとして製作。  
対立させてやってください(え)、ジャイロを見限ってもOK。

\*シナリオでの注意事項  
敵味方の区別なし。